

目次

□巻頭言 建設と管理技術……………宮内 敬保/1  
 名古屋都市高速道路の建設……………佐々木 正久/2  
 南港連絡橋の工事概要……………南 俊次/8  
 戸本松忠夫  
 松橋 数保  
 関門海峡硬土盤浚渫工事の現況……………鷺 海 浩/14  
 □随想 景気雑感……………小蒲 康雄/20  
 地下連続壁工法の現況と将来……………高岡 博/22  
 地下連続壁工法による井筒の施工……………仲田 忠夫/35  
 地下鉄土工事機械化の問題点——開削工法における機械化——  
 ………………中山 隆/40

グラビヤ—新空港への道

土木工事における運搬システム化の一構想……………角田 安達 一夫/45  
 中 畑 英次  
 田 柴 光春  
 小 御 子 男  
 富 樫 滋  
 P C ぐいの動向について……………吉 倉 忍/56  
 高速水ジェットによる岩盤掘削……………星 野 謙三/62

□建設機械化講座 第95回 現場フォアマンのための土木と施工法

XVII. 建設機械概説

1. 建設機械の基礎知識(その2)……………布施 行雄/69

□工場めぐり

神戸製鋼所大久保工場……………菊地 愛久/76  
 大 山 隆三  
 住友重機械工業名古屋製造所……………森 田 英嗣/79  
 仁 瓶 義夫

□新機種紹介

日立 UH 03 M 湿地油圧ショベル……………渡 辺 晃/82

□建設機械化研究所抄報

試験研究報告(No. 74)……………建設機械化研究所/83

□文献調査

海底石油貯蔵タンクの設置法……………調査部会/86  
 文献調査委員会  
 アスファルトプラントに取付けられた  
 新しいベッグ形集塵器……………調査部会/87  
 文献調査委員会

□支部だより

第8回除雪機械展示会開催……………北海道支部/89  
 昭和45年度除雪機械展示実演会開催……………北陸支部/91  
 ニュース……………(編集部)/93  
 行事一覧……………/94  
 編集後記……………(鈴木(眞)・両角)/96

◀表紙写真説明▶

小松 D 155 A チルトドーザ  
 (トルクフロータイプ・油圧リッパ付)

株式会社 小松製作所

本機は、昨年9月発売以来全国各地の大形土木工事に投入使用され、その作業性、運転性、経済性、耐久性のよさをいかんなく発揮しているところである。本機のエンジンは当社の一貫生産方式による信頼性の高い小松 S 6 D 155-4 形を搭載しており、トルクライズが大きく、過酷な作業にねばりを発揮し、大容量のブレードと相まって時間当たり作業量も多く、生産性の高い大形ブルドーザである。

写真は東京都下奥多摩地区で道路造りに活躍しているところである。本機のエンジンは当社の一貫生産方式による信頼性の高い小松 S 6 D 155-4 形を搭載しており、トルクライズが大きく、過酷な作業にねばりを発揮し、大容量のブレードと相まって時間当たり作業量も多く、生産性の高い大形ブルドーザである。

主要仕様

運転整備重量	37,100 kg (油圧リッパ付)
定格出力	300 PS/2,000 rpm
ブレード幅	4,065 mm × 高 1,360 mm
最大上昇量	1,450 mm
最大下降量	600 mm
チルト量	1,000 mm
リッパ装置	シヤック(標準) 3 本
	最大切削深さ 925 mm